

採択テーマ：

強固な鍵管理によるデータセキュリティ技術（鍵管理ソフトウェア技術）

事業の目的・概要

- オンプレミス環境※1やプライベートクラウド※2、パブリッククラウド※3を活用したハイブリッドクラウド環境でのデータセキュリティの向上を目指し、クラウドの種類を問わず、利用者自身が容易に暗号鍵管理を可能とする鍵管理ソフトウェア技術を開発する。
- クラウド環境を問わず、暗号鍵・暗号化対象サービスの利用状況を可視化し、暗号鍵を運用するうえで不可欠な利便性とセキュリティ面を向上させるための、モニタリング・監視技術を開発する。
- 量子コンピューターにより暗号が解読されるリスクに備え、耐量子計算機暗号アルゴリズムを搭載した暗号ライブラリを開発する。

実施体制

株式会社エヌ・ティ・ティ・データ

事業期間（予定）

2023年6月～2026年3月

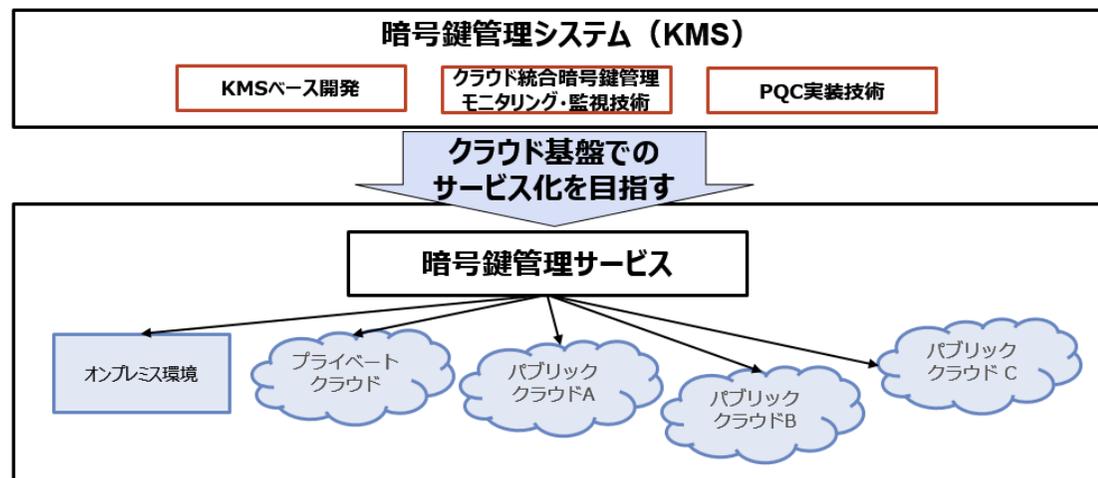
事業規模など

- 事業規模：13億円
- 契約形態：委託事業

主な研究開発内容

- 利用者が暗号鍵管理を実現できるシステム開発
- クラウド統合暗号鍵管理モニタリング・監視技術
- 耐量子計算機暗号（PQC）実装技術

事業イメージ（全体像）



※1：アプリケーションごとに個別の動作環境（データセンター、ハードウェア、サーバなど）を準備し、自らの組織で保有・管理するもの。
 ※2：自らの組織でのみ利用可能なクラウドサービス。運用をサービス提供元に委託する形態なども含まれる。個別の設計が可能のため、オープンアーキテクチャをベースとしたホワイトボックスなクラウドが想定できる。
 ※3：コストや利便性に優れ幅広く利用されているクラウドサービス。多くのサービスは利用者にとってセキュリティ面がブラックボックス化されている。